

## 令和7年度 台東区における地域生活支援拠点等の検証について

### 1 相談支援機能

(1)相談実績 ※令和7年11月末現在 (件)

施設名	件数	介助者不在	本人状態変化	その他
松が谷福祉会館	0			
浅草ほうらい	16	1	1	0
あさがお	0	0	5	0
		0	6	0
		0	3	0
		0	0	0

(2)主な相談事例

#### 【浅草ほうらい】

- ・盗難により保護された利用者の身元引受を行った。
- ・他県のグループホームから急遽退所することとなり、相談員見守りで居場所を確保した。
- ・地域のコミュニティーから「生活保護男性と知的障害女性が結婚したことで、保護が打ち切れ困っている方がいる」との相談を受け、立ち会った。
- ・障害のある子どもが骨折に至った。家族が高齢のため、自宅に帰ってくるための支援を行った。

(3)検証結果

- ・相談支援専門員は、緊急時のサービス調整だけではなく、直接支援に入っている現状がある。
- ・相談内容が多様化し、精神障害や他区からの相談が増加している。
- ・相談支援専門員に求められる専門知識や他事業所との情報共有機会が不足している。

(4)今後の方向性

- ・引き続き相談員対象研修や事例検討会を実施することで緊急時の相談に対応できる人材を育成していく。

## 2 緊急時の受入れ・対応

### (1)受入れ実績 ※令和7年11月末現在

たいとう寮	0件	
浅草ほうらい	2件	(介護者の入院・治療)
チェリーハウス	0件	

### (2)受入れができなかった事例

なし

### (3)検証結果

・「緊急時」の定義が各家庭によって異なるため、利用開始時の説明だけでは周知が難しい。

※「緊急時」の定義：主たる介助者の突然の入院、通夜・告別式の参列等で、他の支援方法がない場合

・ケースが重い際、短期入所受入先から次の受入先を急かされる傾向があり、検証・体験が疎かになる現状がある。

・区内に、夜間対応（体位変換、排泄介助）が必要な場合や他害など強度行動障害のある児童の緊急受入先がない。

### (4)今後の方向性

・緊急時の定義について、利用開始時の説明を一層丁寧に行い、周知を徹底する。

・日頃から緊急受け入れへの理解を事業所に求めるとともに、区外の事業所との関係構築を強化していく。

・令和8年度より拠点コーディネーターを配置し、緊急時の短期入所先確保を推進する。

・引き続き短期入所施設の整備やヘルパーの養成・確保を進めるとともに、強度行動障害のある児童の短期入所について検討する。

## 3 体験の機会・場の確保

### (1)体験入居・地域生活体験事業実績 ※令和7年11月末現在

たいとう寮

実利用者12名・延べ利用回数16回（令和7年度新規利用者2名）

グループホームりゅうせん

実利用者10名・延べ利用回数16件（令和7年度新規利用者1名）

## (2) グループホーム等への移行事例

- ・令和6年度たいとう寮体験利用者（16名）のうち、区内のグループホームに1名移行した。

## (3) 検証結果

- ・1～2年後に生活施設に移行することを目指して体験入居を利用されている方々に、募集のあるグループホームの案内をするも希望されない場合が多い。
- ・以前体験入居を利用し、グループホームに移行した方が、自宅に戻っている例もある。これは、自宅に戻る選択の余地のあるうちに行ったチャレンジの一つとしてとらえる必要がある。
- ・学習会、見学会を実施しているが、継続利用されている方（障害の程度が重い）の移行が少ない現状がある。

## (4) 今後の方向性

- ・移行されていない方の理由を探り、アプローチ方法を検討し移行につなげる。
- ・体験入居を通じた段階的なチャレンジの機会を継続して提供し、本人が自らのペースでグループホームへの移行を判断できるよう支援する。
- ・令和8年度より学習会の参加対象者を拡大する予定。

# 4 専門的人材の確保・養成

## (1) 人材確保・育成に関する取り組み実績

・障害福祉課	<予定>	<実績見込み>
登録手話通訳者の養成	2名	2名
知的障害者（児）ガイドヘルパー養成	45名	22名
同行援護ヘルパー養成	10名	9名
重度訪問介護ヘルパー養成	10名	1名
重度訪問介護従業者養成研修受講費用助成	3件	1件
同行援護従業者養成研修受講費用助成	3件	2件
介護職員初任者研修受講費用助成	25件	3件
介護職員実務者研修受講費用助成	20件	4件
強度行動障害支援者養成研修受講費用助成	5件	2件
移動支援従事者研修受講費用助成	5件	0件
資格取得試験受験料助成	10件	1件
（介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・公認心理士・保育士）		
障害福祉サービス人材採用活動助成	13件	11件
宿舍借り上げ支援助成	4件	3件
相談支援事業所人材育成推進事業助成	7事業所	5事業所
介護職等就職フェアの開催	6回	6回

・松が谷福祉会館		
基幹相談支援センター研修会	3回	2回
・保健予防課		
精神保健福祉研修	1回	1回

## (2) 検証結果

- ・ 重度訪問介護ヘルパー養成の実績見込が予定を大きく下回っている。
- ・ 研修費用助成の実績見込が少ない項目があり、特に介護職員初任者研修、介護職員実務者研修、移動支援従事者研修の実績見込が少ない。
- ・ 昨年度に引き続き、資格取得試験受験料助成の申込人数が少ない。
- ・ 昨年度に比べ、人材採用活動助成の実績見込が増加している。

## (3) 今後の方向性

- ・ ニーズの多い障害福祉サービス人材採用活動助成等の人材確保の助成については、実績の検証を継続し、効果や利便性をさらに検証していく。
- ・ ヘルパー（特に重度訪問介護ヘルパー）の人材確保について、研修内容や資格取得のメリット等を分かりやすくする等、周知を工夫するとともに周知先の拡充を検討する。
- ・ 研修費用助成制度の周知をこまめに行い、活用促進を図る。

# 5 地域の体制づくり

## (1) 実績

- ・ 緊急時の短期入所先を確保するため、令和8年度より拠点コーディネーターを配置する。

## (2) 今後の方向性

- ・ 地域生活支援拠点等の検証結果を踏まえ、短期入所の整備やヘルパーの確保・養成等必要なサービス体制の検討を行う。
- ・ 令和8年度より配置する拠点コーディネーターの効果検証を行う。